

一般社団法人 三重県作業療法士会 広報誌

OTみえ

No.143

2025.10

NEWS

三重県作業療法士会長就任のご挨拶 佐藤明俊

新委員会のご紹介・小児発達支援推進委員会 倫理委員会

contents

【広報部からのお知らせ】

掲載内容について

会員の皆様へ：広報誌への掲載希望、要望についてご意見をお聞かせください。

広報部 e-mail: mieot.kouhou@gmail.com

【巻頭言】

三重県作業療法士会会長就任の挨拶 三重県作業療法士会 会長 佐藤明俊

【知人 de リンク】

あるふぁ訪問看護ステーション 中澤理世

訪問看護ステーションかふう 稲垣春南

【施設紹介】

三重県立子ども心身発達医療センター 石原綾望

【令和7年度 一般社団法人三重県作業療法士会 定時社員総会】

令和7年度定時社員総会について 三重県作業療法士会 松本周二

新人交流会について 学術部 藤田医科大学七栗記念病院 鈴木一貴

新人オリエンテーション・分野別交流会に参加して 伊勢ひかり病院 倉野莉奈

鈴鹿回生病院 實平琴春

【新設委員会の紹介】

小児発達支援推進委員会 委員長 山口英嗣

倫理委員会 委員長 中村清美

【各部局、委員、ブロックの活動報告】

教育部 新生涯学習制度について

学術部 学術部高齢期班勉強会 2025

啓発部 高校生へ作業療法体験・見学会

「熊野社協ふれあいフェスタ」に参加して

地域リハ部 市町担当者配置について

運転と作業療法委員会 運転と地域移動支援実践者制度について

障がい者スポーツ推進委員会 ノルディックゴルフ体験会に参加

【賛助会員のご紹介】

日本モッキ 〒516-0008 三重県伊勢市船江 3丁目17-19

Tel. 0596-65-6039 https://www.nihonmokki.jp/puzzle_rental/

株式会社システムネットワーク ヘルスケア事業部 〒530-0051 大阪府大阪市北区太融寺町2-18 9F

Tel. 06-6364-0529 <http://www.system-network.co.jp/company.html>

田中センイ株式会社 〒518-0444 三重県名張市箕曲中村 207

Tel. 0595-63-7851 <https://www.tanakaseni.co.jp>

学校法人名古屋石田学園 星城大学 〒476-8588 愛知県東海市富貴ノ台2-172

Tel. 052-601-6000 <http://www.seijoh-u.ac.jp/>

【勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について】

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/study/>

【求人情報】

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/job/>

【編集後記】

表紙写真：鳥羽市 神島

三重県作業療法士会会員数 753 名 施設会員 711 名 自宅会員 42 名 賛助会社4社

三重県作業療法士会長就任の挨拶



三重県作業療法士会 会長 鈴鹿回生病院 佐藤明俊

令和7年6月15日(日)、定時社員総会にて会長候補者として選出され、総会後の臨時理事会にて選任いただきました、鈴鹿回生病院の佐藤明俊と申します。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、三重県作業療法士会は創立されて今年で40年目の節目の年にあたります。令和7年11月29日(土)10時より、アスト津にて三重県作業療法士会創立40周年記念式典を予定しております。式典には日本作業療法士協会会長の山本伸一先生をお招きし、ご講演いただく予定にしております。山本会長とお話する、またとない機会です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。詳細については、今後県士会 LINE でお知らせいたします。

次に、会長としての今後の構想について、少し述べさせていただきたいと思います。先に述べた40周年の歴史を振り返ると、創成から10年は学術活動の推進に力を入れ、10年から20年目にかけては、学術活動の充実と士会組織整備、20年から30年目に関しては学術活動の成果の啓発活動に力を入れてまいりました。そして30年から40年目は組織の拡充と再編成、他職種・他団体連携、地域貢献と新たなニーズに対する組織運営をしてきました。40年から先は、より地域との繋がりが増え、我々作業療法士の活躍の場が広がると考えております。その要望に応えるためにも、より多くの県士会員の協力が必要になります。日常業務や知識向上のための勉強で日々忙しい毎日かもしれませんが、県士会活動に一歩足を踏み入れてみませんか？私も、就職と同時に県士会事務局員になり、その後、理事になりいろいろな活動を経験しました。また、理事になることで、国の動き、協会の動きがわかり、今後の医療を取り巻く環境の変化にいち早く気づくこともできます。また、理事会や部局活動に参加することで、違う分野のOTとも情報交換をすることにより、自分の知見が広がり、結果患者さん、ご家族の方にいろいろな分野の話ができるようになります。県士会活動は負担が多いというデメリットが前面に感じられますが、実はメリットもたくさんあります。県士会からのスタッフ募集の案内など見つけた場合は、積極的に参加いただき、もっとこうすれば県士会に参加しやすい、県士会がより良くなるのではといったご意見もいただきながら、より良い県士会を作り上げたいと思っておりますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

知人 de LINK

あるふぁ訪問看護ステーション

中澤理世

皆さまこんにちは、今回、特別医療法人樟純会病院 武内病院の谷口裕幸さんよりご紹介いただきました、あるふぁ訪問看護ステーションの中澤理世です。

Q. 現在の所属と分野について

私は現在、訪問リハビリ、生活期の分野で働いています。廃用症候群、難病疾患、運動器疾患等、様々な病気を抱える方の在宅生活のリハビリテーション・支援を行っています。

Q. 仕事のやりがいや面白いと感じること

訪問リハビリに従事するようになり、利用者様一人ひとりの性格や生活習慣に合わせた支援の難しさと同時に、その分だけやりがいも強く感じています。在宅でのリハビリを通して、より良い生活を実現できるよう関わることに面白さを感じています。OTらしさをより発揮できる場所だなと思うので、これからも頑張っていきます。

Q. プライベートな趣味・特技・マイブームなど

趣味は、どちらも今年に入ってから始めたサイクリングと登山です。今年の5月に念願のクロスバイクを購入して、十数年ぶりに自転車に乗りました。はじめはフラフラで怖かったですが、慣れてきた最近では風が気持ちよくて、ついつい遠くまで走ってしまいます。当面は三重県内を散策したいと思っています。登山もまだまだ初心者なので、いつか鈴鹿セブンマウンテンを制覇することを目標にしています。

Q. 次へリンクする方とのエピソード

今回は元同僚である特別医療法人樟純会 榊原温泉病院の 蒔田正俊さんを紹介させていただきます。一緒に働いている時には、人生経験の豊富さから私を含め周りのスタッフも蒔田さんをととても頼りにしていました。仕事終わりには中華の会を開いてくださって、とても楽しかったです。また、美味しい中華屋さんを教えてください！



訪問看護ステーションかふう

稲垣春南

皆さんこんにちは。今回、松坂厚生病院の嶋津貴大さんから紹介をしていただきました、訪問看護ステーションかふうの稲垣春南と申します。

Q. OT になったきっかけ

高校生の頃、将来について悩んでいた時に、たまたま母が通っていた外来リハビリに連れて行ってくれたことがきっかけです。作業療法士という職種があることも知らなかった私でしたが、実際に母がリハビリを受けている所を拝見し、人の身体や心にまで携われる素敵なお仕事だと感じました。私も、誰かの前向きな気持ちを引き出せる作業療法士になりたいと思うようになりました。

Q. 業務内容・仕事内容について

訪問看護ステーションかふうでは、神経難病の患者様を中心に訪問リハビリをしています。体調面の管理はもちろん、各神経難病に特有の状態評価やリハビリテーションを行っています。また、担当の介護支援専門員と連携を取り、ご自宅の環境やサービスの調整、社会参加への促進も行っています。

Q. 仕事のやりがいや面白いと思うこと

訪問リハビリではご自宅に伺うため、利用者様の生活場面をより鮮明に把握することができます。これにより、ADL（日常生活動作）の支援にも直接的に関わることができ、課題を明確にし、改善へと繋げられた時に大きなやりがいを感じます。

Q. プライベートな趣味、特技、マイブームなど

お菓子を作ることにハマっています。昔から好きでよく作っていたのですが、社会人になってからは忙しくなり、しばらく遠ざかってしまっていました。最近、時間に余裕が出てきたので再開しましたが、お菓子作りの難しさを改めて実感しています（笑）

Q. 次にリンクする方とのエピソードなど

今回は専門学校の同級生で、市立伊勢総合病院に勤務されている伊藤留菜さんを紹介させていただきます。よろしくお願いします。



施設紹介 三重県立子ども心身発達医療センター

石原綾望



1) 施設紹介

三重県立子ども心身発達医療センター(以下、センター)は、県立草の実リハビリテーションセンターと県立小児心療センターあすなろ学園、三重県児童相談センターの難聴児支援部門の3つを統合し、平成29年6月に新設した病院です。

児童精神科のあすなろ病棟(80床)は、15歳までを対象年齢とし、診察や薬物治療・心理療法等に加えて、グループ療育活動など同年代の子どもたちが集団で過ごすことのメリットを活かした治療を行っています。

また、小児整形外科の草の実病棟(30床)は、18歳までを対象年齢とし、リハビリテーション、日常生活支援などを行っています。

また、センターは福祉施設としての機能を持っているため、重症心身障がい児・者等に対して一時的な施設入所サービスも提供しています。

外来の児童精神科は、学校又は家庭で、言葉が遅い、こだわりが強いなどの問題・訴え・悩みのある子どもに対し、診察、各種検査、幼児期から思春期までの発達療育やデイケア、心理療法などの専門治療・評価を行っています。

また、整形外科・小児整形外科は、主に四肢・体幹に機能障がいがある子どもに対し、診察、リハビリテーション、装具治療などを行っています。

地域支援・リハビリテーション課は、主に脳性麻痺、二分脊椎、小児整形外科疾患、知的障がいや発達障がいの子どもに対し、理学療法、作業療法、言語聴覚療法及び摂食機能療法を行っています。

難聴児支援センターは、きこえに心配のある子どもの相談を受け、個別支援、集団支援や訪問支援を行うとともに、「補聴器購入費用助成事業」の申請窓口として手続きのサポートを行っています。

2) センター OT の取り組み内容

現在、当センターの地域支援・リハビリテーション課には5名のOTが在籍しています。遊びや活動を通して、運動機能・認知機能などのアセスメントを行い、子ども1人1人にあわせて以下のような発達を促す関わりを行っています。

○運動・遊び・コミュニケーションの発達促進

様々な玩具や遊具を使い、子どもの発達段階に合わせた関わりを行います。また、自宅で行える遊びや関わり方などを提案しています。

○日常生活動作の練習

食事、着替え、入浴、整容などの身の回り動作の自立に向けて、練習の方法や自宅での介助方法についてアドバイスをを行っています。

○学習に関する能力の評価

文字の読み書きなど学習に関する困り事についてアセスメントを行い、支援方法を提案しています。

○福祉用具・自助具の提案

実際に活動を行ってもらいながら、子どもに適した活動環境を評価します。また、日常生活や学習で使用しやすい道具(自助具)の作成を行います。

○IT 機器を使用した活動

子どもの「できた!」という成功体験を増やす関わりとして、スイッチやタブレットなど小さな動きでも玩具を操作できる機器を使った活動も行います。

3) 今後について

最近では、地域機関や教育機関で肢体不自由児の支援に関わる職員に対する研修会を実施し、地域支援にも力を入れています。地域で生活する子どもたちを支援するためには横のつながりが非常に大切です。センターの基本理念である【子ども一人ひとりが、その子らしく豊かな人生を送るために】も、今後も他機関と協力して子どもたちが地域で暮らしやすくなるための支援を行っていききたいと思います。



設備の一部

[定時社員総会の報告]

令和7年度一般社団法人三重県作業療法士会 定時社員総会について

三重県作業療法士会 松本周二

一般社団法人三重県作業療法士の令和7年度定時社員総会は、6月15日(日)11時40分より対面形式にて開催されました。今回は、委任状参加数429名、会場出席者数78名で、総出席者数は507名となりました。簡単に社員総会について説明させていただきます。社員総会は原則として年1回開催される定時社員総会と、必要に応じて開催される臨時社員総会があり、議決には出席社員の過半数による賛成が必要です。また、一般社団法人の重要事項等を決定する「最高意思決定機関」です。全ての社員で構成され、社員は原則一人一個の議決権を持ちます。一般社団法人にとって重要な事項、例えば役員の選任や解任、定款変更などを行う場合に開催され、社員による決議が行われる場です。

今回は、初めに田中会長から、三重県作業療法士会の現状についての説明がありました。作業療法士としての専門性や社会的責任を、団体としていかに発揮していくかということ、職能団体として、会員一人ひとりが連携し、制度的・社会的基盤の中でその専門性を最大限に生かし、県民の医療の

質の向上に寄与する役割を担っている、ということを伝えていただきました。

議案は以下の通りで、全ての議案が承認されました。

- 1号議案 令和6年度事業報告
- 2号議案 令和6年度会計決算報告
- 3号議案 令和7年度事業計画案
- 4号議案 令和7年度予算案
- 5号議案 令和7年度・8年度役員選挙
- 6号議案 第37回三重県作業療法学会 学会長推薦

第5号議案の役員選挙では、代表理事の交替と、監事2名、理事11名が選任されました。

これをもって社員総会は終了、閉会となりました。

なお、本総会を通じて、三重県作業療法士会が今後も地域医療と作業療法の発展に向けて、より一層尽力していく姿勢が確認されました。ご参加・ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

新人交流会について

学術部 藤田医科大学七栗記念病院 鈴木一貴

令和7年度三重県作業療法士会新人交流会が、文化会館棟2階第2ギャラリーで開かれました。新入会員が各学術班に分かれて交流する機会が設けられました。所属機関の違いを超えて意見交換が行われ、学術活動の理解を深めるとともに、入職してからの悩みや疑問点を情報共有することができ、貴重な時間となりました。

参加者からは「他施設の取り組みを知る良い機会になった」「自分の関心に合った班に所属できて今後は楽しみ」「普段は聞けないことを相談することができた」といった声が聞かれ、学術班活動への関心やこれからの勉強方法、作業療法への希望がうかがえました。今後も、こうした交流の場を通じて会員同士のつながりが深まり、三重県だけでなく全国で作業療法が発展することが期待されます。



交流の様子

新人オリエンテーション、分野別交流会に参加して

伊勢ひかり病院 倉野莉奈

部分もありますが、今後の自身の学びのためにもしっかり取り組んでいきたいと思いました。

三重県作業療法士会の新人オリエンテーション、分野別交流会、新・生涯学修制度説明会に参加させていただきました。オリエンテーションでは、全体の組織図、どのような活動を行っているかなど、詳しく知ることが出来ました。分野別交流会では、身体障害チームに参加し、リスク管理について、また事例を挙げて自身ならどのように対応するかなどの意見交流をさせていただき、様々な意見や疑問点などを知ることが出来ました。実際に他施設の方と交流できる機会はあまりないので、今回参加することが出来て良かったです。そして、新・生涯学修制度説明会について、これまでの仕組みから新たに変更されたとのことで、まだ理解できていない

鈴鹿回生病院 實平琴春

三重県作業療法士協会について知らないことが多く、どのような活動をしているのか不明な点がありました。ですが、今回の新人オリエンテーションで、さまざまな部署があり、各々どのような活動をしているのか紹介してくださったので、より深く知ることができました。三重県作業療法士協会に入会している先輩方はとても優しい方が多く、さまざまな場所で活躍しているため、意見交換ができる場であるのではないかと思います。

【新設委員会の紹介】

小児発達支援推進委員会について

小児発達支援推進委員会 委員長
山口英嗣



三重県作業療法士協会 小児発達支援推進委員会では、県内の小児領域に関わる作業療法士の皆さまに向けて、保育・教育現場への関わりの意義をお伝えし、より多くの方々に当委員会の活動に関心を持っていただきたく、ご案内申し上げます。

現在、理学療法士においては、学校における支援体制強化の一環として「認定スクールトレーナー」等の制度が推奨されるなど、教育現場への専門職の参画が進んでいます。作業療法士においても、発達支援に関する知識やスキルを活かし、子どもたちが安心して学び・生活できる環境づくりに寄与できる重要な役割が期待されています。

とりわけ、保育所や幼稚園、学校など集団生活の場において、子どもたちの行動・情緒・身体発達・社会性などに多面

的にアプローチできる OT の視点は、教職員や保護者、そして本人にとっても大きな支えとなります。私たち作業療法士が教育・保育の現場に積極的に関わることは、子ども一人ひとりの発達を適切に支援する体制づくりの一助となり、また、OT の専門性を社会に広く示すことにもつながります。

当委員会では、そうした「教育と OT の接点」についての情報発信や事例共有、学び合いの場を提供し、実際の支援につなげる活動を行っています。子どもの発達を支える仕事にやりがいを感じている方、また、今後関わってみたいとお考えの方は、ぜひ一緒に活動しませんか。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

右の QR コードは発達支援推進委員会の情報共有のためのゲージルフォームです。





倫理委員会について

倫理委員会 委員長 中村清美

令和7年度より、常設委員会として倫理委員会を置くことになりました。会員の皆様が直面する倫理問題について、多くの場合は所属する組織内で解決に向けて対応がなされると思います。しかし、対応が不十分であったり、解決に至らない場合の相談窓口として、また日本作業療法士協会（以下、協会）と連携を図る窓口としての役割を担うことになります。

ところで皆様は、倫理問題とはいったいどのようなものか、ご存じでしょうか。協会では取り扱う範囲は、

- 1: 理学療法士及び作業療法士法 第四条一、二及び四号に該当する行為
- 2: 倫理綱領又は作業療法士の職業倫理指針に抵触する行為（例としては、人権侵害や各種ハラスメント、個人情報保護に関わる問題、作業療法の記録に関する問題、不当な金銭の拝受など）
- 3: 協会会員が被害を受けた場合
- 4: 本会の名誉を傷つけ、又は本会の目的に違反する行為

などを倫理問題として扱います。（協会 HP の倫理関連情

報にある事例集などを参考にしてください）

こういった問題が起きないための会員の倫理向上（事前対応）、問題が起きた場合の倫理相談への対応（初期対応）、問題事案の処理（事後対応）があり、協会と連携して取り組むことで、会員の皆様が安心して仕事に従事できるのではないかと思います。

作業療法を受けられている方からの相談も県士会で受けることもあるでしょう（手抜き治療をされた、セラピストからハラスメントを受けた等）。倫理問題は自分ごとであるという認識を持ち、高い倫理観をもって作業療法を実践できるよう、県士会で以下の取り組みをしていきます。

- ・県士会の倫理規定の策定
- ・倫理問題が起きたときの相談の流れの明文化
- ・倫理向上に関する勉強会

上記に関して理事会等で決まり次第、県士会 HP 等でお知らせしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【各部局、委員、ブロックの活動報告】 1 教育部より

新生涯学習制度について

教育部 部長 富中真悟

2025年4月より新生涯学習制度がスタートしました。三重県作業療法士会教育部では、これまでにオンラインや三重県作業療法士会総会でも説明会等を開催しました。

新生涯学習制度は2025年度日本作業療法士協会入会者より適応されます。2024年度以前に日本作業療法士協会に入会された方は現行の基礎研修制度の適応となり、2027年3月に終了となります。現行の基礎研修制度が修了していない会員は、2027年3月までに修了してください。三重県作業療法士会では2025年度も例年通りに基礎研修を開催します。または日本作業療法士協会のeラーニング講座の受講可能ですので、修了をお考えの会員はこちらでの受講もお勧めします。

新生涯学習制度は前期研修2年、後期研修3年で構成されています。現在は前期研修eラーニングを視聴することができるようになっています。実施経験に関しては各施設の上位者作業療法士の指導・助言が必要となります。

新生涯学習制度についての詳しい内容は、日本作業療法



日本作業療法士協会の HP 教育関連のページ

士協会ホームページ（会員向け情報→教育関連）をご参照ください。「新しい生涯学習制度 概要」「新生涯学習制度 P V」「新生涯学習制度の大方針 - 登録作業療法士と認定作業療法士の目指す方向性 -」等が動画配信されていますので一度視聴いただきますようよろしくお願いします。

また登録作業療法士、認定作業療法士や登録作業療法士への読み替えが必要となります。各自で要件を把握し準備をお願いします。

【各部局、委員、ブロックの活動報告 2 学術部より】

令和7年度学術部 高齢期班勉強会のお知らせ

学術部高齢期班の勉強会では、①病院や施設での日々の悩みやジレンマを共有し、②知識や取り組みの工夫、技術を、ともに考えて身につけること、③参加者同士の繋がりづくりを目的としています。ぜひご参加ください。

対 象 : (一社)三重県作業療法士会会員・養成校学生
 参 加 費 : 無 料 第3水曜日に設定しています！
 場 所 : ZOOM (申し込み後、ID・パスワードを自動返信にてお送りします)
 時 間 : 19:30 ~ 20:30 (終了後、30分程度の交流会を予定)



【年間スケジュール】

日程			内 容 (変更する可能性あり)	話題提供者 (予定)	申し込み
①	7/16	(水)	「認知症の作業療法評価と目標」 社会資源を活用した目標設定 A-QOA(活動の質評価法)の紹介	岡崎 靖弘 氏 (熊野病院) 竹内 元輝 氏 (志摩地域医療福祉センター)	
②	8/20	(水)	「心不全の評価・介入」 作業療法の注意点 活動・参加に向けた実践	八原 大輔 氏 (松阪中央総合病院) 加藤 大 氏 (在宅ケアクリニック)	
③	9/17	(水)	「動作の捉え方とプログラム(片麻痺編)」 片麻痺患者の動作把握の難しさ 動作分析やプログラムに自信が持てない方へ	磯部 朱里 氏 (岡波総合病院) 山本 泰雄 氏 (鈴鹿医療科学大学)	
④	10/15	(水)	「対象者の意欲・心の芽生えについて」 目標設定のタイミングや働きかけの工夫 MTDLP・ADOC-H・COPM	相松 伶奈 氏 (みたき総合病院) 遠藤 琉愛 氏 (松阪中央総合病院)	
⑤	11/19	(水)	「作業療法臨床実習指導」 指導の進め方・工夫していること	杉野 恵理 氏 (菰野厚生病院) 鈴木 良枝 氏 (三重大学医学部附属病院)	
⑥	12/17	(水)	「生活場面での高次脳機能障害」 生活場面での捉え方とアプローチ例 注意障害・復職支援	島田 恵輔 氏 (伊勢ひかり病院) 豊田 志奈子 氏 (三重県身障センター)	
⑦	1/21	(水)	「新人作業療法士の歩みと卒後教育」 新人に寄り添うサポートの実践	志水 理紗 氏 (村瀬病院) 保田 千菜美 氏 (村瀬病院)	
⑧	2/18	(水)	「活動・参加に向けた作業療法の実践」 通所・訪問作業療法で活動参加 を支援する難しさ	西岡 真子 氏 (鳥羽豊和苑) 西飯 瑞希氏 (伊勢ひかり病院)	

※ 各勉強会の QR コードからお申し込みください。キャンセルの連絡は必要ありません。

※ 1 日の申し込み受付数に制限があります。間際になると混み合いますので早めにお申し込みください。

※ 締切りは各勉強会の当日 16:00 です。

※ 申し込み受付完了後、ZOOM ID・パスワードが届かない場合はご連絡ください。

問い合わせ: koureiki925@gmail.com (学術部高齢期班)

【各部局、委員、ブロックの活動報告 3 啓発部より】

高校生へ作業療法体験・見学会

啓発部 鈴鹿医療科学大学 島崎博也

啓発部主催による高校生作業療法体験・見学会を、令和7年7月28日(月)～8月2日(土)の期間で実施いたしました。本年は、県内66施設に受け入れ協力をしていただき、高校生より希望のあった21施設へ、33名の高校生に参加していただきました。

高校生33名の内訳は「1年生7名、2年生11名、3年生15名」であり、32名の高校生よりアンケートの返却があったため報告します。

作業療法を知っていた高校生は、32名中31名であり、参加学生のほとんどが知っていました。知った時期は、小学生が2名、中学生が12名、高校生が17名でした。どこで知ったかとの問いには、学校、家族、病院や施設、インターネット、オープンキャンパスで知ったという意見を認めました。

学生の感想として、「より深く作業療法の仕事内容を知ることができた」「作業療法士の仕事に興味を持った」といった率直な意見や、「思ったより楽しそうに仕事をしていて素敵だなと思った」「患者さんの身体を支えるだけではなく、心も支えていくのが作業療法士なんだなと思った」「作業療法士がかっこいい」などといった素敵な意見もあり、アンケート回答者32名全員が見学会に参加して「作業療法に対する興味が深まった」と回答してくださいました。これらの結果を得て、啓発部としても実施する意義があり、大変良かったと思っております。と同時に、施設ご担当の皆様方には、感染対策などでいろいろな制限がある中ご対応くださり、本当に感謝いたします。

本年は、県内の66施設に受け入れの承諾をいただき、参加者がいなかった施設の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。しかしながら、多くの受け入れ施設があるということで、参加高校生における施設の選択肢が広がることや、高校進



体験の様子 藤田医科大学七栗記念病院 担当 中川裕規

路指導の先生方に対し非常に高い啓発効果を認めているのも事実です。県士会の皆様方には、本活動を来年度も継続的に実施してまいりたいと思いますので、是非ともご協力いただけますようお願い申し上げます。

参加された高校生の感想

今回、初めて病院を見学させていただき、作業療法士が何をするのか、どのような道具を使って患者さんへリハビリを行っていくのか、詳しく知ることができました。実際にリハビリの中で使用されている道具に触れたり、最新のリハビリロボットを自分でも体験することができ、とても貴重な体験ができました。また、病気やけがをされた患者さんが再び日常生活を送れるよう、作業療法士と一緒に運動や料理の練習までされており、とてもやりがいのある仕事であると感じました。(Aさん)

今回の見学で、対応してくださった作業療法士の皆さんがとても優しく、大変わかりやすく丁寧に説明してくださり、高校生の私でも十分理解することができました。実際に2名の患者さんの訓練を見学させていただきましたが、患者さんの希望を聞きながら、患者さん一人一人に合わせて丁寧にリハビリをされている姿がとても素敵でした。私は将来作業療法士になることが夢ですが、今回の見学でその思いはより強くなりました。(Bさん)

「熊野社協ふれあいフェスタ」に参加して

医療法人紀南会 熊野病院 濱口 楓

令和7年6月29日(日)、熊野市保健福祉センターで開催された「第21回社協ふれあいフェスタ」にて、作業療法の啓発活動を行いました。

「ふれあいフェスタ」は、福祉への関心と興味を深めてもらうことを目的に、熊野市社会福祉協議会を中心に毎年開催されています。地元ボランティア団体や小学生ボランティア、福祉事業所などが参加し、食べ物や手工芸品などを出店していました。また、段ボール迷路、スタンプラリーなどの催しや、



三重県作業療法士会のブース

地元中学校吹奏楽部による演奏、書道アーティストによるパフォーマンス、ダンスや和太鼓といったステージイベントが会場を盛り上げました。

作業療法ブースでは、「ペットボトルキャップオープナー」の自助具制作体験、塗り絵、バルーンアート、付箋アート、生活相談会を実施しました。作業療法ブース横にスタンプラリーのゴールが設置されていたこともあり、多くの子どもたちとその保護者の方々にお立ち寄りいただきました。塗り絵コーナーでは、兄弟姉妹やお友達同士で参加した子どもたちが真剣な表情で色鉛筆を動かし、思い思いの作品を仕上げている姿が印象的でした。塗り絵にきた子どもたちにプレゼントしたバルーンアートを見て作業療法ブースに足を運んでくださ

た方もいて、思わぬ広報につながりました。普段接することの少ない子どもたち相手に苦戦するスタッフもいましたが、普段とは違う活動に刺激を受け、良い経験になりました。

また、ブースに立ち寄ってくれた方の中には「息子が作業療法士です。」という声も数名聞かれ、作業療法士人口の増加に伴い“作業療法士”の知名度が上がってきていると感じました。今後の啓発活動では、“作業療法士”を知ってもらうとともに、“作業療法士はどんなことをしているのか”をより知っていただける機会になればと思います。



塗り絵コーナーの様子



屋外会場の様子



会場全景

[各局、委員、ブロックの活動報告 4 地域リハ部より]

市町担当者配置について

地域リハビリテーション部 部長 伊藤正敏

地域リハビリテーション部では、以前より三重県全29市町に、各市町村と作業療法士会の橋渡し役として「市町担当者」を配置しています。担当者は、地域のニーズや依頼事項を受け取り、適切な会員につなぐ重要な窓口として、研修会の案内や地域支援事業への参加依頼などに対応しています。所属施設に応じて「北勢」「中勢」「南勢」に分かれ、円滑な情報共有や支援体制の整備もサポートしています。各担当

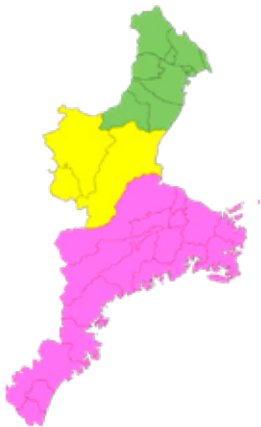
者はチェックリストにそって、無理なく市町ごとの状況に応じて進められるよう工夫しています。

自分が所属する市町の担当者をぜひ知り、何かあれば気軽に連絡していただければと思います。

地域での作業療法の活躍を支える仕組みとして、今後も活動してまいります。

一般社団法人 三重県作業療法士会 市町担当者

市町村	市町担当者	所属施設	市町村	市町担当者	所属施設	市町村	市町担当者	所属施設
北勢地区	桑名市	服部智史	中勢地区	津市	竹森史江	南勢地区	松阪市	立井静
	木曽崎町	竹河誠		伊賀市	工藤元真		伊勢市	成川峰子
	菰野町	伊藤正敏		名張市	一ノ木真優		度会町	伊勢ひかり病院
	いなべ市	伊藤正敏					玉城町	
	東員町	伊藤正敏					志摩市	
	四日市市	浅生千晶					鳥羽市	竹内元輝
		松本周二					南伊勢町	
		上田奈央					多気町	澤村沙月
	鈴鹿市	佐野佑樹					大台町	青木千絵
	亀山市	夏目紫帆					明和町	中野みゆき
北勢地区	朝日町	加藤大	中勢地区				大紀町	浅井巧
	川越町	加藤大					紀北町	
							尾鷲市	松本大博
							熊野町	岡崎靖弘
							紀宝町	
							御浜町	



【三重県版】市町村担当者の役割 チェックリスト

【 市】

< 対外的活動 >

① OT窓口として市町村と連携する □



こんな人たちが働いているんだな

- ☐ ①市町のキーマン()に電話をする
- ☐ ②キーマンとの名刺交換 ()
- ☐ ③笑顔の花プロジェクトの広報及び勉強会の広報
- ☐ ④OTへの相談や依頼がある
- ☐ ⑤計画策定会議への参加

② OT窓口として他職種団体・他職種と連携する □

よろしくお願いします

OT士会に依頼書を出しますね



- ☐ ①どこに誰がいるかを知る
- ☐ ②地域内での他職種団体と連携
- ☐ ③共同研修会や意見交換会等の開催・参加

< 対内的活動 >

③ 市町村の施策や事業をアセスメントする □



市はどんな事業をしているのかな？

- ☐ ①市町の通いの場やサロンなどの情報を知る
- ☐ ②派遣等の参画実績の把握
- ☐ ③年度ごとの事業計画等の把握
- ☐ ④事業別OTニーズの具体的内容の把握

④ OTニーズを満たす人材や事業所をマッチングする □

確認してみます！

事業所は時間内or有給で地域活動OK？



- ☐ ①地域内のどこにOTがいるか把握する
- ☐ ②地域内のOTと顔合わせをする
- ☐ ③地域内のOT・事業所の参画意図の把握
- ☐ ④派遣や事業委託等の参画を推進するための情報共有

⑤ 協会・士会に協力し効果的な取り組みについて発信し共有する□

成功事例を共有しましょう



協会にフィードバックしよう

- ☐ ①士会に協力し効果的な取り組みについて発信・共有する(地域リハ便り)
- ☐ ②協会主催の研修会への参加
- ☐ ③協会・士会と市町村担当間の情報共有
- ☐ ④協会主催の全国調査に協力する
- ☐ ⑤協会が推奨するマネジメントプロセスの活用

【各部局、委員、ブロックの活動報告 5 運転と作業療法委員会より】

運転と地域移動支援実践者制度について

運転と作業療法委員会 委員長 宮坂裕之



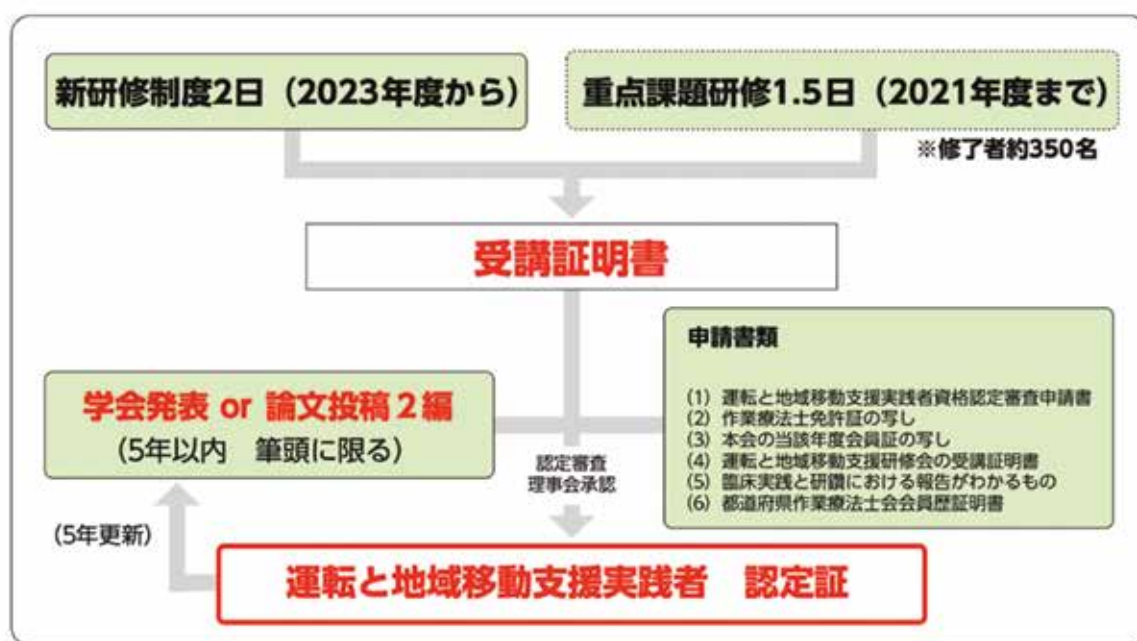
「運転と地域移動支援実践者」制度をご存知でしょうか？
作業療法士の自動車運転や地域移動支援に関わる機会が増えていることを背景に、それに関わる作業療法士の質を担保するために創設された制度になります。

認定資格を取得するためには、2日間の「運転と地域移動支援」研修を受講し、臨床実践と研鑽における報告が2件

以上(研究論文や学会発表)あることが申請要件になります。

運転支援に作業療法士が関わることで、広く社会に作業療法の有効性を示すことができる分野です。

臨床で運転支援に関わる会員の皆様には、ぜひ、資格取得に挑戦してほしいと思います。



[各部局、委員、ブロックの活動報告6 障がい者スポーツ推進委員会より]

ノルディックゴルフ体験会に参加

障がい者スポーツ推進委員 NPO 法人 TEAM 創心
小山隆幸



皆さん、ノルディックゴルフをご存じでしょうか？

ノルディックウォーキングボールを使用し、ボールにゴルフクラブ2本を固定し、歩いてラウンドする新しいスタイルです。ノルディックウォーキングとは、北欧発祥の2本のボールを使用して歩くフィットネスエクササイズ的一种です。

日本ノルディックゴルフ協会主催で、ノルディックゴルフ体験会を津カントリー倶楽部で開催しています。私も7月に体験会へ参加させていただきました。

参加者は作業療法士、障がい者当事者とその家族が参加していました。ゴルフは初めてでしたが、ゴルフボールにクラブが当たった時の音や、飛んだ時の爽快感があり、楽しく取り組むことができました。

参加者の中には、上肢切断の方も参加していました。日本ノルディックゴルフ協会の作業療法士の方は、参加者の靴に

圧センサーを装着して、ノルディックゴルフ前後でのバランスの違いを計測していました。ノルディックゴルフ後の方が左右均等の圧になっているとのことでした。

ノルディックゴルフを通して、障がい者の社会参加や作業療法の効果を確認する機会となりました。動作分析の視点からは、ボールを用いた歩行動作とスイング動作が組み合わさることで、上肢・体幹・下肢の協調運動やバランス反応の促進が期待できます。さらに、屋外でのスポーツ活動を通じた心理的効果や、仲間との交流による社会的リハビリテーションの要素も大きいと感じました。

今後、運動機能の維持・向上だけでなく、QOL向上や健康増進プログラムとしての活用可能性もあると感じています。

11月2日にはチャレンジ大会が開催される予定です。もし関心のある方がみえましたら、一度体験してみてください。



参加者の方たちとの記念写真



上肢切断者の方のゴルフ風景

[賛助会員のご紹介]

NihonMokki のパズルレンタルのご案内

指先運動とパズルで脳トレ! 科学誌ニュートンにコラムを掲載していた Asobidia の本格パズルが定期的に届きます。

レンタルなので、パズルに飽きたころに新しいパズルが届きます!

お問い合わせは こちらの QR コードから



日本モッキ

https://www.nihonmokki.jp/puzzle_rental/

0596-65-6039

e-mail wood@nihonmokki.jp

Puzzle Rental



VR型半閉空間無視りハビリ支援システム
vi-dere
Vi-dere(ウィデーレ)はVR技術を用いて、机上検査ではできなかった、三次元的評価を実現しました。
無視領域をマッピングを用いて可視化
独自のスリットシステムによる介入訓練が可能
日常場面に近いADL訓練課題も搭載(食事・通路通過など)



撮影協力: 亀田リハビリテーション病院様

視覚認知領域を定量的にマッピング化かつADL場面を含めた評価・訓練が可能になりました



株式会社システムネットワーク



星城大学大学院 健康支援学研究科

健康支援学領域

障害・リハビリテーションや健康支援・障害予防のための環境と方法を科学する

障害発生後のリハビリテーション健康支援と中高年者の心身の健康保持増進に向けた生活健康支援に関する知識と技術を普及できる臨床家と研究教育者を養成

2025年度 大学 院 生 募 集

【お問い合わせ】 星城大学大学院入学試験係

〒476-8588 愛知県東海市富貴ノ台 2-172 TEL.0120-601-009 FAX.052-601-6010
URL <https://www.seijoh-u.ac.jp/graduate/> e-mail:nyushi@seijoh-u.ac.jp

[勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について]

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。

<http://mieot.com/info-cat/study/>

[求人情報のご紹介]

求人情報の詳しい内容は、作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/job/>

[編集後記]

本号では、会長就任のご挨拶をはじめ、新人交流会や各部局の活動報告、新設委員会の紹介など、三重県作業療法士会の歩みと広がりを感じられる内容を掲載することができました。会員一人ひとりの取り組みが積み重なり、県士会全体の力となっていることを改めて実感いたします。また、知人紹介や施設紹介からは、日々の臨床に込められた思いや工夫が伝わり、読者の皆さまにとっても学びや刺激になれば幸いです。本誌が作業療法の魅力を共有し、地域や社会に貢献する一助となることを願いつつ、今後もより良い誌面づくりを目指してまいります。

編集：渡邊 誠 部局員：萩野 創、岡田拓郎、佐古健一郎、北畠正人

発行所

〒514-1296

三重県津市大鳥町424-1

藤田医科大学七栗記念病院内

一般社団法人三重県作業療法士会 広報部

発行責任者：田中一彦

事務局

〒512-1111 三重県四日市市山田町5538-1

小山田記念温泉病院 リハビリテーションセンター内

一般社団法人三重県作業療法士会 事務局

TEL: 059-328-1260

FAX: 059-337-9511

e-mail: mieotjim@yahoo.co.jp